

『くまもと県民節電所』のサイトを覗いてみよう

URL <https://kumamoto-setsuden.jp/portal/>

くまもと県民節電所は、県民、県内事業者の省エネルギーや節電の取組みをサイト上で「見える化」することによって、県民総ぐるみでの節電の取組みを推進しています。

このサイトでは、省エネコンテストへの参加や、電気の家計簿機能、電力需給ひっ迫時の情報提供サービスなど、省エネルギーに関する様々なサービスを提供しています。

是非、サイトを覗いてみてください。



家庭でできる省エネルギーの取組みを紹介します。
省エネルギーの取組みは、ちょっとした心がけで大きな効果を生み出します。できることから少しずつ取り組みましょう。

家庭でできる省エネルギーの取組み

照明		不要な照明をできるだけ消しましょう。 白熱電球を蛍光灯やLEDに取替えましょう。
テレビ		画面の輝度を下げましょう。 必要な時以外は消しましょう。
エアコン		夏は室温28℃、冬は室温20℃を心がけましょう。 “すだれ”や“よしず”などで窓からの日差しを和らげましょう。 無理のない範囲でエアコンを消し、扇風機を使用しましょう。 フィルターをこまめに掃除しましょう。 2部屋（2台）で使用している場合には、1部屋（1台）に減らして使用しましょう。 窓には厚手のカーテンを掛けましょう。
暖房機器		エアコンと電気ストーブ・ヒーターを上手に使い分けましょう。 電気カーペットは人のいる部分だけを温めるようにしましょう。 設定温度を「中」または「弱」にするよう心がけましょう。 扇風機やサーキュレーターで部屋の上部の暖気を循環させましょう。 こたつは、上掛けなどを活用し、暖気を逃がさないようにしましょう。
冷蔵庫		冷蔵庫の設定を季節ごとに調節しましょう。 扉を開ける時間をできるだけ減らしましょう。 食品をつめこまないようにしましょう。 壁との間に適切な間隔を空けて設置しましょう。
ジャー炊飯器		早朝にタイマー機能で1日分をまとめて炊きましょう。 保温機能は使用せずに、よく冷ましてから冷蔵庫に保存しましょう。
電気ポット		お湯はコンロで沸かし、ポットの電源は切りましょう。
洗濯機		容量の80%程度を目安にまとめ洗いをしましょう。 お風呂の残り湯を洗濯などに利用しましょう。
パソコン		省電力設定を活用しましょう。 短時間であればノートパソコンの電源を抜いて使しましょう。
掃除機		夏の屋間や、冬の夕方などのピーク時はモップやホウキを使ってみましょう。 紙パック式はこまめにパックを交換しましょう。
温水洗浄便座		便座保温・温水の設定温度を下げましょう。 不使用時はふたを閉めましょう。
待機電力		リモコンではなく、本体の主電源を切りましょう。 使わない機器はプラグを抜いておきましょう。

水と緑と人が生み出す エネルギー

球磨村総合エネルギー計画を策定しました

平成26年3月

本村は、木質バイオマスをはじめ小水力、風力、太陽光など多様なエネルギー資源が豊富に存在する地域です。

しかし、人口の減少や高齢者単独世帯の増加等、いわゆる小規模市区町村が抱える課題に直面しており、村の主要産業である林業と農業についても、様々な影響を受け低迷しています。

本村の今後の持続可能な発展のためには、村の魅力を向上させ、交流人口の増加、住民福祉の向上、雇用の創出および維持、六次産業の創出などを促進していく必要があります。

「球磨村総合エネルギー計画」は、これらの中長期的な目標を達成すべく、地域全体のエネルギーの安定供給・低炭素化を通じて、防災性の向上、生活の利便性の向上、新たな地域産業・地域経済の活性化、更には多様な主体の能動的参加によるコミュニティの活性化等の多様な便益（マルチ・ベネフィット）を得ることを目指して、策定しました。

村の地域資源を生かした再生可能エネルギーを導入し、省エネルギーの推進を具体化させることで、環境性・防災性の両面から「低炭素かつエネルギー自給率の高い村」を実現していきます。そして、中山間地域という特性を踏まえた新しいエネルギーマネジメントシステムの構築を目指していきます。

球磨村のエネルギーに関する将来像

第5次球磨村総合計画における将来像や基本理念を踏まえ、エネルギーについても、「水」「緑」「人」といった本村の有望な資源を生かし、持続可能なむらづくりを行っていくことが重要と考えています。

将来の方向性を踏まえ、本村のエネルギーに関する将来像を以下のように設定しています。

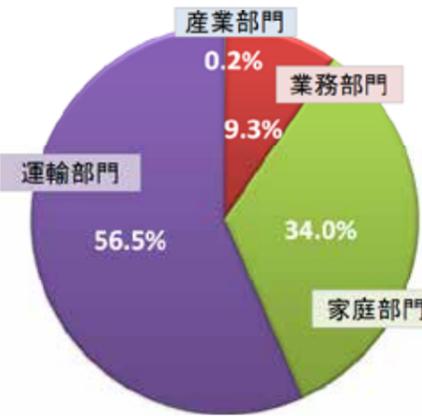
球磨村の資源(水や緑)によるエネルギーを、最大限活用している

エネルギー関連産業の誘致・発展が進み、雇用が創出されている

災害時にも強い地域のエネルギーインフラの構築・活用が進んでいる



球磨村では、312TJのエネルギーを消費しています



本村における平成24年度のエネルギー消費量は312TJで、家庭部門が34.0%、運輸部門（産業・業務・家庭すべての自動車利用を含みます）が56.5%となっています。運輸部門のうち、その9割以上を自家用車が占めています。

地球温暖化対策やエネルギーの有効利用の観点から、エネルギーの使用量を削減するための抜本的な取組みの強化が必要です。また、エネルギーを村内で生産し、地域産業の活性化につなげる必要があります。

球磨村のエネルギー需要を賅える再生可能エネルギーのポテンシャルがあります

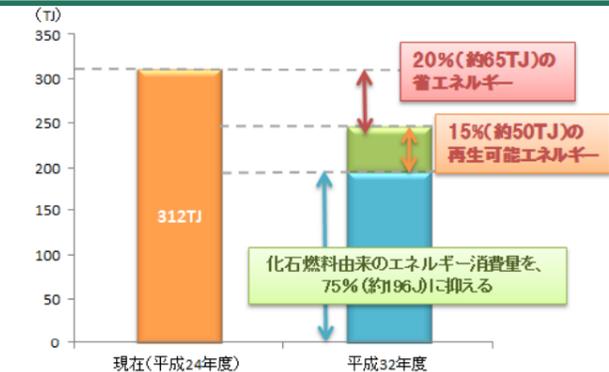
本村は、木質バイオマスをはじめ小水力、風力、太陽光など多様なエネルギー資源が豊富に存在する地域です。球磨村における再生可能エネルギーのポテンシャルは、334TJと推定されます。

化石燃料への依存度を低減するため、再生可能エネルギーを導入が期待されます。特に、豊かな自然エネルギーを積極的に活用し、地域資源を活用した新たなエネルギー関連産業の振興が必要です。



平成32年度に向けて省エネルギーを進め、現在（平成24年度）と比べて、20%（約65TJ）の省エネルギーを達成することを目指します。その上で、現在のエネルギー消費量の15%（約50TJ）の再生可能エネルギーを導入し、よりグリーンなエネルギーへの転換を図っていきます。

低炭素かつエネルギー自給率の高い村を目指し、平成32年度に20%の省エネルギーを達成します。更に、15%を再生可能エネルギーで賅います。



「低炭素かつエネルギー自給率の高い村」を目指し、平成32年度の目標を達成するため、エネルギーに関する対策に取り組んでいきます

家庭部門における省エネルギー対策の強化

- ◆ 省エネルギー設備・製品の導入促進や普及啓発を実施します
- ◆ 省エネルギー住宅の導入、省エネルギーに向けたリフォームを促進します
- ◆ 省エネルギーに対する意識改革のための普及啓発を促進します



業務部門における省エネルギー対策の強化

- ◆ 省エネルギー設備・製品の導入促進や普及啓発を行います
- ◆ 省エネルギー型建築物の導入、省エネルギーに向けたリフォームを促進します
- ◆ 省エネルギーに対する意識改革のための普及啓発を促進します



運輸部門における省エネルギー対策の強化

- ◆ 次世代自動車の導入を促進します
- ◆ コミュニティバスのサービス向上を検討します



村内産業の振興

- ◆ 農業・林業など基盤産業の活性化を促進します
- ◆ 商工業や観光業との連携を念頭においたエネルギー政策を検討します
- ◆ 第二次産業・第三次産業の誘致とともに、六次産業の創出を検討していきます
- ◆ 地域の雇用創出に資する再生可能エネルギー事業の枠組みを検討していきます

災害に強い自立・分散型電源の確保

- ◆ 平時・災害時に利用可能な再生可能エネルギーの導入を進めていきます
- ◆ 電気自動車（EV）や蓄電池などの活用可能性の検討を進めていきます



太陽光発電及び風力発電の導入

- ◆ 村民参加型の太陽光発電・風力発電事業の創出を検討します
- ◆ 太陽光発電や風力発電の事業誘致を促進します



中小水力発電の導入

- ◆ 村民参加型の中小水力発電事業の創出を検討します
- ◆ 中小水力発電の事業誘致を促進します



バイオマスの導入

- ◆ 木質バイオマスの利用を促進します
- ◆ チップ若しくはペレットの村内生産・流通体制の構築を検討します

その他、未利用エネルギーの利活用

- ◆ 太陽温水器の導入促進に向けた普及啓発や支援策を検討します
- ◆ 河川熱の利用可能性を検討します



本村の魅力的代表する施設の一つである「かわせみ」に、再生可能エネルギーを導入し、低炭素かつエネルギー自給率の高い施設を目指します。

太陽光発電及び中小水力発電を導入し、両者の利点を生かして、安定的な発電を行っていきます。

また、現在使用している重油ボイラーを、木質バイオマスボイラーに代替し、村内で生産した木質チップ・ペレットを活用します。更に、余熱を野菜乾燥に用いたり、隣接する施設「せせらぎ」の暖房に用いることを検討していきます。

